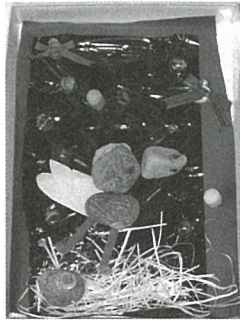




1年 兼坂 翼さん



『いしのへんしん』

※石を見ていたら、とがった石が口ばしに見えたよ。池の中を泳いでいるようにするのが大変だったよ。



2年 越川 陽奈さん



『麒麟ってかっこいいな』

※動物公園は、とても楽しかったです。麒麟の形作りが、むずかしかったです。



あつまれ みんなの力作

小三宮内 晃輝



3年 宮内 晃輝さん

※文字のバランスを考えながら書きました。名前も漢字でていねいに書きました。



『初めてのカヌー』

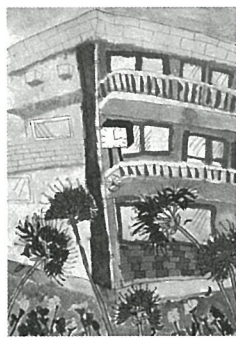


4年 林 優花さん

※波に見えるように水をぬるのがおもしろかったです。



5年 加瀬 愛里さん

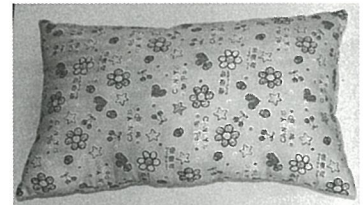


『彼岸花』

※下がきで、よく彼岸花を見て、ていねいに書きました。



6年 土屋 真由さん



『クッション』

※ミシンで曲がらないように、まっすぐ縫うのがとてもむずかしかったです。



南条小学校



ひかり歌壇

伊藤 定男(尾垂) 生き甲斐を書道に求むるわが余生 乏しき書法に進歩夢見て 書道一筋に励む作者の姿が 眼に浮かぶ

土屋 好(虫生) 事故もなく平和な里に六十年 農ひたすらに生きて来たれり 虫生の里に住みつき農一筋にきた 作者の姿

安田 和子(作間内) 生れし子を守るがに見ゆ母犬は 過ぎ行く我に激しく吠えり 子持ちの犬の母性愛が滲み出ている

高梨 キヨ(長塚) 行きずりの会釈もえにし短日の 野辺は秋色吾が影長し 秋色濃い秋の夕暮れ、自分の影の長さに ふと気付く

越川 福子(宮内) 出展にせかれて画く百合の絵の 形のみ追ひ何か足らざり 絵の作品づくりに取りくむ作者の姿

鈴木 益郎(原方) 栗山川見上げる空の飛行機に 空港付近の面影うかぶ 元航空兵だった作者には格別思いが深い

越川 義則(二又) 畑仕事風がつめたくなりし頃 仕事仕舞いに妻を気つかう 妻を思いやる気持ちが生み出ている

鈴木甲子幸 評者詠 道の辺に車を停めて微笑浮かべ かつての教え子「わかりますか」と